

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立木田小学校  
校長名 松井 実

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「命の尊厳」「自律」「尊重」を基盤とした教育課程を編成し、学び合いによる「学びの広がり、深まり」のある授業実践を積み上げる。道徳科、総合的な学習の時間を中心に「生き方学習」を進める。</li> <li>自己肯定感・夢を育てる教育の充実を目指し、将来について考えたり体験したりする学習活動の工夫・改善を図る。</li> <li>授業で、児童が主体的・対話的で深い学びができるよう、適宜デジタル教科書や授業支援ソフトを活用する場を位置付ける。学習効果の高い支援ができるよう、教員のICT活用研修を計画的に行う。</li> <li>英語科の授業等において、英語に慣れ親しむとともに、英語によるコミュニケーションへの児童の積極的な姿勢を育む。</li> <li>学級の係活動や児童会活動など、児童が主体となって仲間と共に創り上げる活動を計画的に仕組む。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校集会や授業、行事等で「自分を大事にする」「同じように他の人も大事にすることを大切にした。児童は、仲間と安心して学び合いながら活動することができた。」児童は「自分にはよいところがある」の質問に対して、92%の児童が「ある」と答えた。(12月末)</li> <li>「夢をもつ」ことについて、「木田小おもしろい日」や観劇、プロスポーツ選手やプロの演奏家との交流など、体験活動や講話を聞く場を位置付けた。「将来の夢や希望をもっているか」というアンケートに94%の児童が「ある」と答えた。</li> <li>児童は、ICT機器を活用し、自分の考えを積極的に発信した。タブレット端末で互いの考えを交流したり考えを深めたりして、「できた」「わかった」を実感できる児童が増えた。</li> <li>英語科でALTと連携し、授業や、日常に英語を使うことで、英語への関心が高まっている。</li> <li>児童会スローガン「みんな仲良し木田小学校～あいさつ～」と「真剣な活動」達成のため、児童会行事や係活動に取り組んだ。一方、主体性には、課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が仲間と安心して学び合いの授業をすることができている。ペアやグループになって学び合うことは、自分も、他の人も大切にしようすることに有意義なことである。</li> <li>児童が夢や希望をもつことができるよう、様々な体験活動や講演・講話を聞く機会が仕組まれている。引き続き、児童が夢や希望を実現できるよう温かく見守りたい。</li> <li>児童は、主体的にタブレット端末などのICT機器を使用して授業を受けている。学び合いで、考えをもって交流したり考えを深めたりすることに引き続き努めていけるとよい。</li> <li>児童が、英語を「楽しい」と感じ、より実践的に聞いたり話したりできるよう、授業などを仕組んでいけるとよい。</li> <li>児童が仲間と良好な関係を築いていることを生かして係活動や委員会活動を進められるとよい。縦のつながりも大切にしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の自己肯定感が高まっている一方、主体性には課題がある。授業や児童会・係活動、運動会などの行事等について、課題やねらいの設定の段階から、児童が願いや思いを出し合い、それが生きたものとなるような活動を工夫し、児童が主体的に取り組んだよさを実感できるようにする。</li> <li>夢や希望をもっている児童が多い一方、実現に向け努力をし続けることには課題がある。今年度、「働くプロ」との交流や講話、また、体験活動を多く位置付けた。来年度も、児童が学びたい「大人」の姿に触れたり体験したりする機会をつくり、自己の生き方を探求し、夢や希望の実現に向け努力し続けることができるようにする。</li> <li>児童は、ICT機器を活用するなどして、互いの考えを交流したり自己の考えを深めたりしている。今後さらに、児童が互いを尊重し、みんなと高め合えるように、意図的な学び合いの場を仕組み、視点をもって互いの考えを聴き合うようにする。</li> <li>英語学習では、引き続きALTと連携し、児童が主体的に楽しく取り組む授業をしていきたい。</li> <li>児童が、自分たちの成果や課題を見つめ、「こうしたい」「こうなりたい」と願いをもって係活動や委員会活動を行えるように、重点活動を明確にした年間計画を作成し実施していく。</li> </ul>
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の伝統である「いじめ防止キャンペーン」を継続し、学校と地域が一体となって児童の人権感覚を育て、児童が主体となって「いじめゼロ」を進めることができるようにする。</li> <li>本校の自慢である「あいさつ」の大切さを、児童会が中心となって全校へと広める活動を仕組む。また、家庭や地域、中学校区が一体となったあいさつ運動を展開する。</li> <li>「木田ふれあい運動会」等、地域と共に主体的に取り組める活動を計画し実施する。</li> <li>教育支援ボランティアの開拓を進め、地域人材の支援を得て児童の学びが広がり深まるようにする。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめゼロキャンペーン」で、キャラクター・ポスター・標語に対して、多くの保護者や地域の方が投票し、いじめについて考えることができた。</li> <li>進んであいさつできる児童が増えてきた。保護者アンケートでも、「あいさつがよくなる」の項目での評価が高まっている。</li> <li>「木田ふれあい運動会」では、地域種目を児童が応援したり、児童と見守り隊との合同競技を実施したりした。また、児童は、各係の活動を、地域の方や中学生と協力して行った。</li> <li>枝豆やサツマイモ栽培、高齢者との交流など、地域人材の支援により、児童の学びが広がり深まった。一方、新しい地域人材の開拓は課題が残った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止キャンペーンは、児童が「木田小の伝統」と誇りをもてるものになっている。学校・保護者・地域の連携を今後も大切にしたい。よりよい形も創り出し継続させたい。</li> <li>あいさつは、小中学生の連携が図れる場である。小中の連携を期待したい。</li> <li>運動会で、児童は地域とのつながりを大切にすることを育てることができた。中学生の参加もある。今後も、小中学校の連携に期待したい。</li> <li>地域人材の支援については、枝豆等以外にも多くの人材があり、協力していただける方々をさらに開拓していけるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の伝統である「いじめ防止キャンペーン」の取組を継続し、いじめ防止活動を、キャンペーン中だけでなく、常時、ホームページや学校だより等で、地域へ発信していく。</li> <li>あいさつをすることのよさを、児童会を中心に、保護者や地域、中学校とも連携して、今後さらに広めていく。また、「自分からあいさつ」ができるよう、働きかけを続ける。</li> <li>「木田ふれあい運動会」で築いてきた地域との連携を、他の地域行事にもつなげる工夫を図りたい。コミュニティ・スクールの組織を生かし、地域の中でも子どもたちが育つよう連携を図りたい。</li> <li>地域と連携した活動が固定化されている。地域人材の開拓を、さらに進められるよう、コミュニティ・スクールの組織を生かしていきたい。</li> </ul>
あたたかさや働きがいのある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の指導力の向上や児童の成長に高まりが見られるよう、校内の授業研究や職員研修の充実を図る。</li> <li>時間外勤務が月45時間、年間360時間以内となるよう、ノー残業デーを確実に位置付ける。各職員の校務の適正化を図る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「特別支援教育研修」「ICT活用研修」「アレルギー対応研修」等、確実に実施した。</li> <li>担任は授業研(公開授業研)を実施し、職員間で授業を見合い研究会を行いながら、指導力向上に努めた。また、ペアやグループでの学び合いを位置づけ、温かい学級作りを進めた。</li> <li>職員が業務内容を精選しながら勤務することができた。今後は、業務内容と働き甲斐のバランスを取れる職員集団とすることも課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な研修を実施したり、研究授業を公開したりすることで、教職員の指導力向上につながっている。</li> <li>小規模校であることから、職員一人一人の業務は多いが、職員同士で緊密に連携し合って、組織を生かしながら職務を遂行していけるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が、主体的・対話的で深い学びを創り出す授業を行うことができるよう、「聴き合い・学び合い」のある授業実践のための授業研を進める。また、「学力向上研修」「アレルギー対応研修」等を確実に位置づけ実施する。</li> <li>時間外勤務が月45時間、年間360時間以内となるよう、引き続き水曜日や8の日のノー残業デーを位置付ける。また、職員一人一人の校務の適正化を図り、職員の働き甲斐につながるよう、学級経営や教材研究等について、学び合える職員集団をつくる。</li> </ul>
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故や生徒指導事案等に対し、早期発見・早期対応に努める。特に初動時に、共通理解、共通行動を図り、迅速な対応に努める。</li> <li>水の事故に対して、保護者や地域と連携し、「自分の命を自分で守ること」ができるよう、水難防止教育を実施する。</li> <li>地域で予想される災害に対し、児童が適切な避難方法等の知識を得られるよう、計画的に「命を守る訓練」を実施し、命を守るための主体的な行動をとる態度を育成する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故や生徒指導事案、「こごたん」への児童の悩みに対し、早期発見・早期対応に努めた。その日の内に、職員の共通理解を図り、対応するよう努めた。</li> <li>水の事故に対して、PTA主催による「水難防止訓練」や「命を自分で守る」意識をもつための、重要な機会となった。</li> <li>計画的に「命を守る訓練」を実施し、児童が主体的に命を守る行動をすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童一人一人に寄り添い、教育相談や生徒指導事案に対して、職員が連携して対応している。引き続き、児童を大切にしたい対応をしていけるとよい。</li> <li>PTA主催で実施された水難防止訓練は、地域に川があることから、有効な訓練である。ぜひ、続けていけるとよい。</li> <li>「命を守る訓練」の実施と、各教室に避難経路の掲示があることは、いざというときの児童の行動につながるものである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故や生徒指導事案等に対し、引き続き早期発見・早期対応に努める。また、児童や保護者などから得た、どのような情報も、確実に連絡、報告をしよう。</li> <li>初動時、関係職員での情報の迅速な共有と、組織での対応について確認する。</li> <li>予想される様々な事故等について、保護者や地域と連携し、児童が「自分の命を自分で守る」ことができるよう、指導を継続する。</li> <li>地域で予想される災害に対し、児童が適切な避難方法等の知識を得られるよう、より実践的な訓練方法の工夫改善を図る。</li> </ul>
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が、主体的に学習できるよう、タブレット端末内のアプリの効果的な使い方や自主学習の進め方を提示していく。</li> <li>安全安心な教育活動を行えるよう、毎月15日を目途に安全点検を実施し、迅速な修繕と環境整備に努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業では、タブレット端末で授業支援ツールを有効活用して、学び合いを進めることができた。児童が「自分の命を自分で守る」意識をもつための、重要な機会となった。</li> <li>計画的に「命を守る訓練」を実施し、児童が主体的に命を守る行動をすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末を児童がどのように有効活用しているか、保護者や地域も共有できる。</li> <li>学校施設や学習環境などについて、保護者や地域が今後も支援できるよう努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が、さらに主体的に学習できるよう、タブレット端末内のアプリの効果的な使い方や自主学習の進め方を提示していく。</li> <li>引き続き毎月15日を目途に安全点検を実施し、必要に応じて迅速な修繕と環境整備に努める。令和6年度中に未修繕箇所は、引き続き修繕申請をする。</li> </ul>

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/kida-e/>